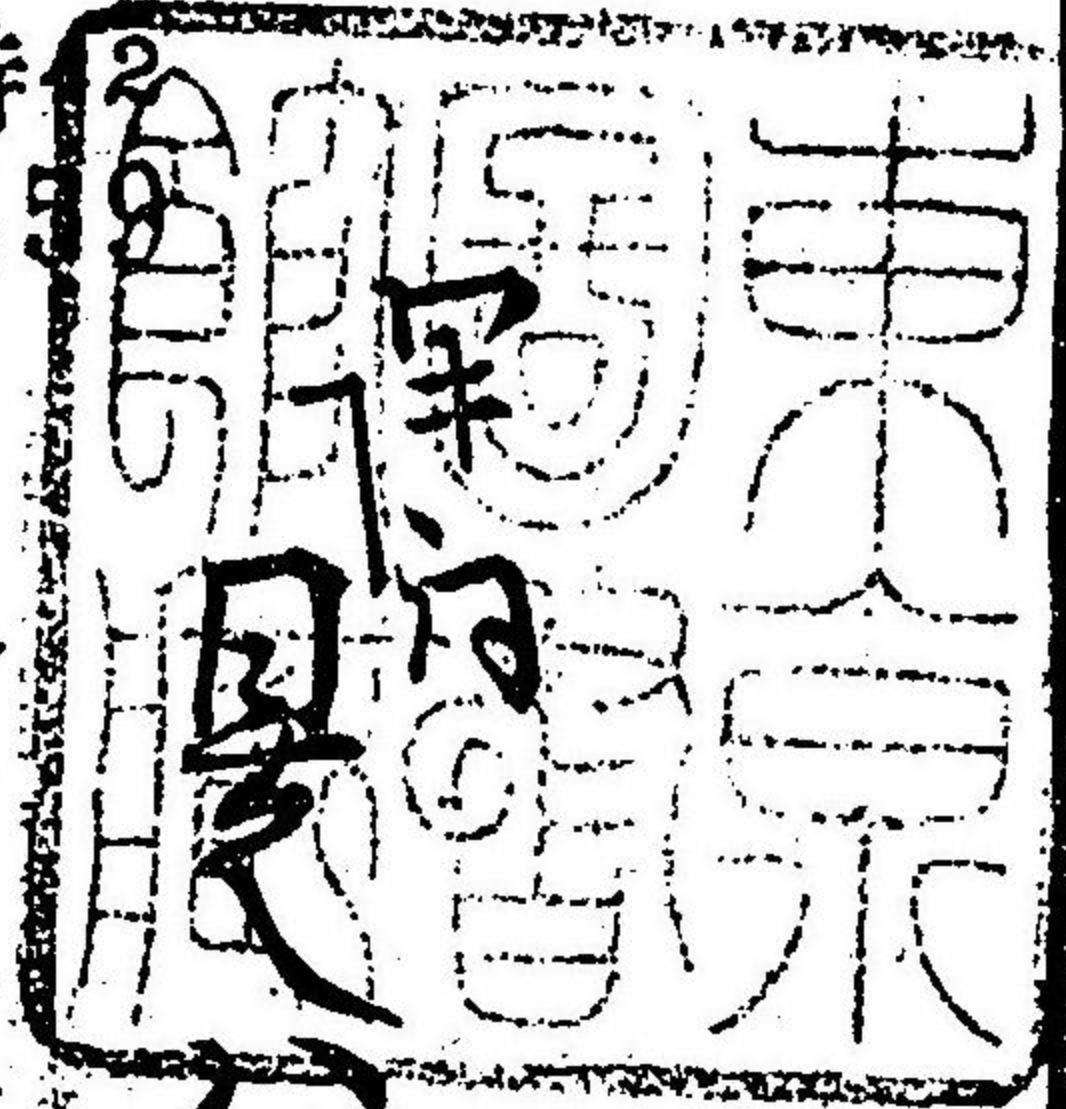


特42
459

後寬
36

東 京 圖 書 館					
一 一 〇 冊	七 四 一 號	四 七 架	八 十 四 函	音 曲 類	和 書 門



俊寛

相国よはへし者よそいぬ

此度中官御産乃はいのり乃馬

よ非常の大教行りるよよりの國を

れ流人教初めありしりも冤家り鴻

乃流人の内母殿乃おの成経平判

官康頼二人教免の使を其取

特4

居と三熊野のく浦れを海に云
 とつ樹影麻衣の志まらんとたその
 まくれ白衣うつく美砂を著て教朱
 まましくゆきものみさきして神よ
 歩きとささるふありく東信夜の世を
 まして老冢う鳴寺と地あるをれ
 果の暗もさうりくいんか園もさるよ

玉完書眠雲母の地人金鶏
 夜宿の不崩乃枝寒蟬古木を抱
 て鳴盡て頭をさうりくうの康新後實の
 身れよよさうられていあま成の候
 寛めて儂うらうを三行行乃為よは
 ぬまていろうあくもさ候くさうあ
 たり道中人の具為酒と持ていよ

の人も諸人の身も計ある有様の
 時^名も感^名ての花も海^名も山^名も眼^名
 くの身も心も^名さる^名まら^名る^名も此
 鴻の雲^名も鴻の雲^名もあ^名れ^名の^名雲^名もあ^名る^名河
 までとまら^名る^名の^名真^名途^名た^名り^名た^名る^名も
 成^名究^名る^名の^名と^名此^名義^名の^名と^名を^名ら^名る^名天^名地^名を
 動^名る^名雲^名の^名も^名感^名する^名も^名成^名る^名も^名入^名る^名も^名

あらもつと此身も多^名く^名歎^名も^名あ^名る^名妙^名と
 とも^名後^名に^名思^名ひ^名の^名毎^名つ^名も^名あ^名ら^名ば^名
 まも^名後^名た^名る^名春^名も^名あ^名ら^名ば^名も^名可^名
 流^名る^名り^名な^名り^名も^名さ^名る^名も^名た^名る^名成
 経^名康^名頼^名と^名が^名ら^名る^名其^名名^名計^名あ^名る^名も
 毛^名田^名紙^名も^名や^名ら^名る^名も^名と^名巻^名み^名て^名た^名
 此^名僧^名都^名も^名後^名賢^名た^名り^名る^名文^名字^名も^名

更ニあリこノ夢ヲ扱シ夢ヲあルばハあ
 りテくレつクあリ後實り有様をあ
 りテ義なりまれル時刻づつてハい
 まニがレ経康頼二入つる也はハあリ名物と
 云ふかレてハあリ事あらばは
 ぶつのなましたらんと捨て二入公母よ
 のあらはすレ僧都も母よといはすレ

康頼ノ後ノまつりまつレ僧都と
 毎日があらままとあらままとあらままと
 今もあらままとあらままとあらままとあらままと
 今もあらままとあらままとあらままとあらままと

向テ人々の地を治す者は皆人の心を治す
 情もあらままとあらままと櫓擢といふ上
 今もあらままとあらままとあらままとあらままと

明治十七年三月六日翻刻御届
同年四月十二日別製本御届

定價四錢

翻刻人

京都府平民

寺田熊



下京區第五組麩屋町

錦小路五梅屋町十三番戶

